

2024 年度

## 授業概要

| 科目名  | 臨床医学総論Ⅲ ① |     |      | 授業の種類 | 講義    | 講師名 | 三村 佳祐      |
|------|-----------|-----|------|-------|-------|-----|------------|
| 授業回数 | 30回       | 時間数 | 60時間 | 2単位   | 必修・選択 | 必修  | 配当学年<br>時期 |

### 【授業の目的・ねらい】

これまで学んできた基礎的な医学的知識を応用しながら、病気の基礎、検査、診断、治療とそれに付随する医療機器を総合、臨床工学技士の業務に必要な臨床医学的知識の修得を目的とする。

## 【実務者経験】

臨床工学技士として姫路聖マリア病院にて、医療機器管理業務をはじめ、手術室業務・血液浄化業務・救急医療などに従事経験。

## 【授業全体の内容の概要】

臨床工学技士国家試験過去問を用い、クラス全体の習熟度を確認しながら実施していく。

前期では、主に臨床工学技士に必要な基礎を中心に、後期では内科系～外科系の疾患を中心に実施。

## 【授業終了時の達成課題（到達目標）】

- ・国家試験過去問が自らの力で解けるようになる。また、自ら説明できるようになる。

| 回数 | 講義内容                  | 準備物(教材) |
|----|-----------------------|---------|
| 1  | 概論：生物学的基礎について理解できる    |         |
| 2  | 概論：身体の支持と運動について理解できる  |         |
| 3  | 概論：呼吸（解剖）について理解できる    |         |
| 4  | 概論：循環（解剖）について理解できる    |         |
| 5  | 概論：血液について理解できる        |         |
| 6  | 概論：腎・泌尿器（解剖）について理解できる |         |
| 7  | 概論：消化と吸収について理解できる     |         |
| 8  | 概論：内蔵機能の調節について理解できる   |         |
| 9  | 概論：情報の受容と処理について理解できる  |         |
| 10 | 概論：外部環境からの防御について理解できる |         |
| 11 | 概論：免疫・アレルギーについて理解できる  |         |
| 12 | 概論：生殖・発生・老化について理解できる  |         |
| 13 | 概論：エネルギー代謝について理解できる   |         |
| 14 | 中間試験                  |         |
| 15 | 総論：内科学概論について理解できる     |         |

【使用教科書・教材・參考書】

- 【使用教科書・教材・参考書】  
・臨床工学講座 臨床医学総論 第2版、篠原一彦 ほか、医歯薬出版株式会社  
・臨床工学技士標準テキスト 第3版、小野哲章、金原出版株式会社  
・配布資料

### 【準備學習・時間外學習】

- ・国家試験の過去問題は自主的に取り組んでください
  - ・事前に教科書に目を通して講義に臨んでください
  - ・病名、診断と治療を関連づけて覚える必要があります。十分な復習を行ってください

## 【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。

由間試験の評価を40点 定期試験を60点として合計100点とする

中間試験の評価を40点、定期試験60点以上の場合は科目を認定する

2024 年度

## 授業概要

| 科目名  | 臨床医学総論Ⅲ ② |     |      |     | 授業の種類 | 講義 | 講師名        | 三村 佳祐 |
|------|-----------|-----|------|-----|-------|----|------------|-------|
| 授業回数 | 30回       | 時間数 | 60時間 | 2単位 | 必修・選択 | 必修 | 配当学年<br>時期 | 3年 通年 |

### 【授業の目的・ねらい】

これまで学んできた基礎的な医学的知識を応用しながら、病気の基礎、検査、診断、治療とそれに付随する医療機器を総合、臨床工学技士の業務に必要な臨床医学的知識の修得を目的とする。

## 【実務者経験】

臨床工学技士として姫路聖マリア病院にて、医療機器管理業務をはじめ、手術室業務・血液浄化業務・救急医療などに従事経験。

## 【授業全体の内容の概要】

臨床工学技士国家試験過去問を用い、クラス全体の習熟度を確認しながら実施していく。  
前期では、主に臨床工学技士に必要な基礎を中心に、後期は内科系～外科系の疾患を中心に実施。

### 【授業終了時の達成課題（到達目標）】

- ・国家試験過去問が自らの力で解けるようになる。また、自ら説明できるようになる。

| 回数 | 講義内容                    | 準備物(教材) |
|----|-------------------------|---------|
| 16 | 総論：外科学概論について理解できる       |         |
| 17 | 総論：呼吸器系について理解できる        |         |
| 18 | 総論：循環器系について理解できる        |         |
| 19 | 総論：内分泌、代謝系について理解できる     |         |
| 20 | 総論：神経系、筋肉疾患について理解できる    |         |
| 21 | 総論：感染症について理解できる         |         |
| 22 | 総論：腎臓、泌尿器、生殖器系について理解できる |         |
| 23 | 総論：消化器系について理解できる        |         |
| 24 | 総論：血液系について理解できる         |         |
| 25 | 総論：麻酔科学について理解できる        |         |
| 26 | 総論：救急、集中治療医学について理解できる   |         |
| 27 | 総論：免疫、移植について理解できる       |         |
| 28 | 中間試験                    |         |
| 29 | まとめ                     |         |
| 30 | まとめ                     |         |
|    | 定期筆記試験                  |         |

【使用教科書・教材・参考書】

- ・臨床工学講座 臨床医学総論 第2版、篠原一彦 ほか、医歯薬出版株式会社
  - ・臨床工学技士標準テキスト 第3版、小野哲章、金原出版株式会社
  - ・配布資料

## （準備學習・時間外學習）

- ・国家試験の過去問題は自主的に取り組んでください
  - ・事前に教科書に目を通して講義に臨んでください
  - ・病名、診断と治療を関連づけて覚える必要があります。十分な復習を行ってください

## 【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

試験の結果を100点満点として成績を評価する  
中間試験の評価を40点、定期試験を60点として合計100点とする  
60点以上の場合に科目を認定する